

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和5年8月24日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 別府平和園 児童養護施設 別府平和園	種 別：児童養護施設
代表者氏名：理事長 宇津宮隆史	定員（利用人数）35名（34名）
所在地：874-0840 別府市大字鶴見1110-12	
TEL：0977-66-3121	

④総評

◇評価の高い点

【質の向上に向けた取り組みが組織的・計画的に行われている。】

・養育・支援の質の向上を目指し、計画策定・実行・評価・見直しのサイクルで、恒常的に組織として取り組んでおり、職員一人ひとりが理解と参画が得られている。

【養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。】

・施設長は、毎月の職員会議、企画会議、支援会議等の場において、理念や方針を踏まえ、把握した養育・支援の課題を分析し、福祉の質の向上のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。また、質の向上のための体制として、毎月外部スーパーバイザーを入れての学習会を開催している。

・被虐待児、発達特性等の対応が困難な児童が増している中、職員一人ひとりの資質の向上が求められており、職員は各種会議に参画して、情報を共有化して組織的に児童を尊重した養育支援に取り組んでいる。

・子どもの権利を守り、子どもが相談したり意見等が述べられるよう意見箱「ドラえもんポケット」が設置されている。また、外部の児童福祉に精通した第三者委員が定期的に相談できるよう体制が整備されている。

【子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。】

・FSWを中心に児相とライフストーリーワークを実施している。アルバムをすぐ手に取れるところに置いている。自分の生まれたふるさとを訪ねる等、生い立ちを振り返る機会を確保・実施している。

【生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。】

・ユニット内で調理や庭で野菜を育てながら生活技術の習得に努めている。各ユニットに行き来する際の挨拶や玄関で靴をそろえる等の社会常識等を得る支援を行っ

ている。また近年 SNS の問題もあるため、警察署から講話をしてもらい知識や情報の提供の機会としている。

◇改善を求められる点

【経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。】

・施設運営の安定性を図るため、施設の経営状況について定期的に分析して、養育・支援の質の向上や、組織体制の整備、建物の整備、人材育成、財務状況等の現状分析を適切に、具体的に取組を行うことを期待する。

【経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。】

・経営の改善や福祉業務の安定を図るため、効果的な福祉人材確保（採用等）や育成について、継続的に取り組むことを期待する。

【子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。】

・意見箱（ドラえもんポケット）が整備されており、子どもが利用しやすい環境整備もなされている。今後は実践していることをマニュアル等文書化し整備されることを望む。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

評価結果をもとに、改善すべき分野・項目において、再度、施設で見直し、子ども達の最善の利益に向けて追求したいと考えております。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）